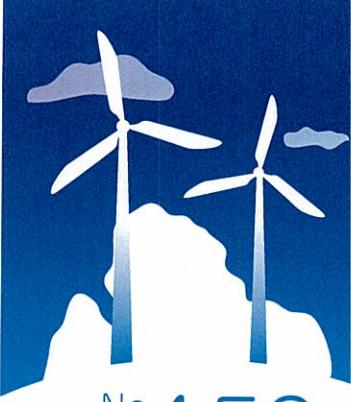


くずまき 議会だより

ホームページ▶ <http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>



No.158
3月定例会

平成24年5月1日発行



安心して暮らせる
町づくりに48億円

24年度予算質疑

一般質問～3議員が町政を問う～

定例会・臨時会で決まったこと

インタビュー 盛岡信用金庫葛巻支店長

2p

4p

6p

9p

10p

笑顔のつどい

今月の表紙

あやか
芳田綺華ちゃん
(前列左から3人目)
お誕生日おめでとう
(吉ヶ沢児童館・誕生会)

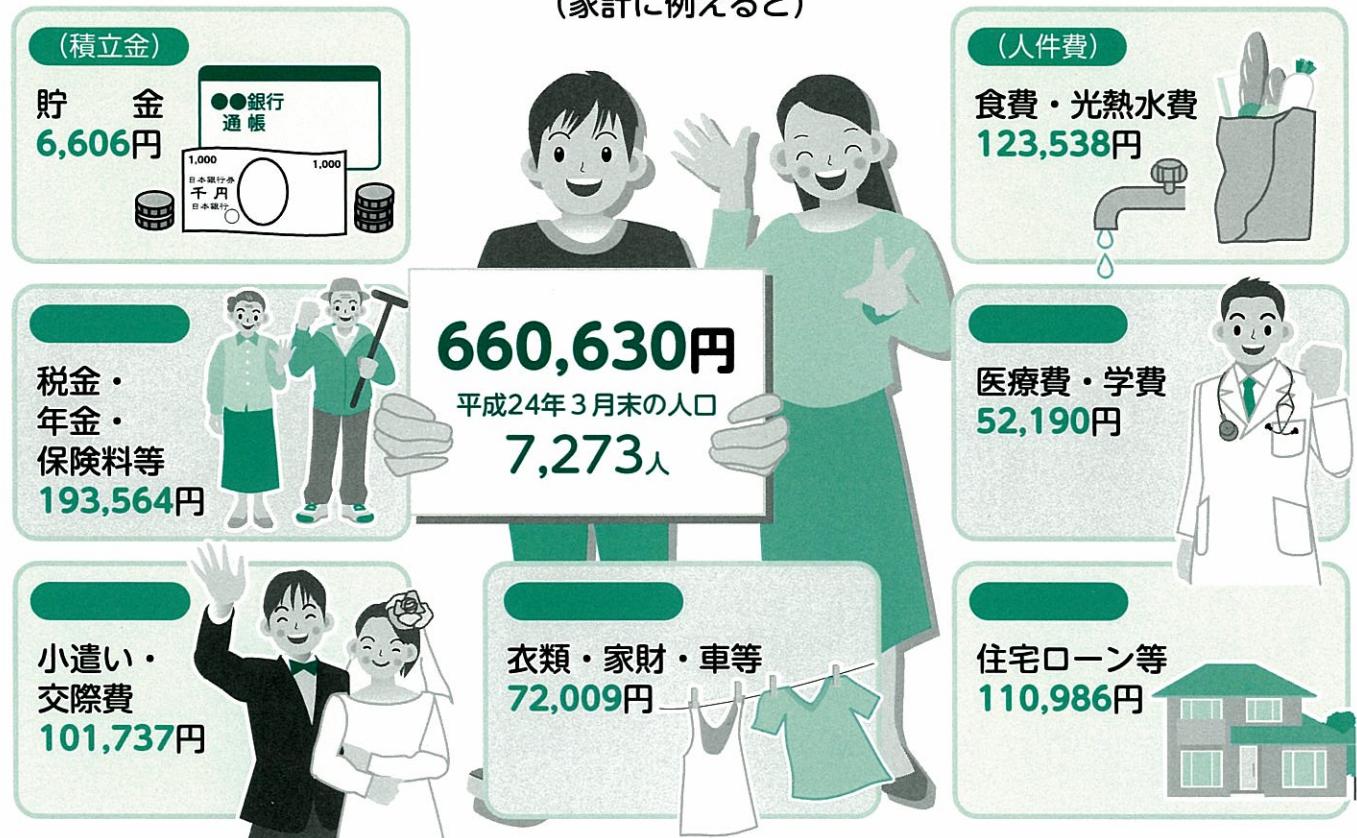
安心して暮らせる町づくりに48億円

● 一般会計予算概要

収 入	項 目	予 算 額	構成比	支 出	項 目	予 算 額	構成比
	自主 財源	町税 分担金等 その他の合計	4億7,254万円 7,447万円 1億5,791万円 30億1,000万円 6億2,383万円 3億5,330万円 1億1,271万円 48億476万円	9.8% 1.6% 3.3% 62.6% 13.0% 7.4% 2.3% 100.0%	人件費 扶助費 公債費 建設事業費 物件費 負担金等 積立金 合計	8億9,923万円 3億7,787万円 8億714万円 5億2,334万円 7億4,030万円 14億664万円 5,024万円 48億476万円	18.7% 7.9% 16.8% 10.9% 15.4% 29.3% 1.0% 100.0%
	合計						

(1万円未満は四捨五入)

一般会計の支出を町民一人当たりにすると (家計に例えると)



● 特別会計予算概要

会計名	予算額	対前年比
国民健康保険事業	10億5,880万円	△4.9%
簡易水道事業	1億6,736万円	△0.8%
農業集落排水事業	1億8,560万円	△7.0%
後期高齢者医療事業	6,668万円	0.3%
国民健康保険病院事業	9億2,141万円	△0.2%
合計	23億9,985万円	△2.7%

5つの特別会計の予算総額は、23億9,985万円で、各会計の予算額は、次表のとおりです。今年度から、江戸地区の簡易水道の統合整備に向けた事業に着手します。

なお、いずれの会計も、自主財源の確保に努め、健全な財政運営が求められています。



生活習慣病予防検診を受診して健康な毎日を (元木生活改善センター)

一般会計予算は、48億476万円で、前年に比べて約7463万円、1.6%増加した予算となっています。

今年度の主な事業は、次のとおりです

- ▽バス路線運行拡大支援対策費
- ▽携帯電話不感地域解消事業
- ▽公共施設再生可能エネルギー導入事業
- ▽乳牛導入120周年記念事業
- ▽町道改良事業（小屋瀬塚森線、宝積寺線ほか3路線）

また、町の借金（町債）は、30000万円、450万円の23年度末見込みで63億1728万円、前年度に比べ3602万円、0.6%減少しております。一方、貯金（一般会計基金）の23年度末見込み額は27億2706万円、前年度に比べ6億132万円、約28.2%増加し、町民一人当たり約37万円となります。

改選後はじめての定例会「3月定例会」は7日から16日までの10日間の日程で開かれました。

初日に、鈴木重男町長の施政方針演説が行なわれ、新年度予算の概要と、生活・医療・子育て支援・再生可能エネルギーの導入など、「安心して暮らせる町づくり」に向けた所信を述べました。続いて、千葉洋一教育委員長が教育行政方針演説で「葛巻の将来を担う人づくり」を推進すると述べました。

本定例会には、平成24年度一般会計ほか5特別会計予算など17議案が提案され、輝くふるさと常任委員会の審議を経て、全議案が原案どおり可決されました。

賛成討論（要約）

小谷地 喜代治 議員

一般会計ほか5特別会計の24年度予算案は「安心して暮らせる町づくり」を主眼に編成され、次に掲げるように、町民の不安解消に向けた各分野における事業が盛り込まれていることから、各会計予算案に賛成する。

【安心なまち】◇地域の防災拠点となる公共施設への太陽光発電施設を設置◇携帯電話の不感地域を解消

【人口減少対策】◇若者の定住を促進するため、定住促進住宅を整備

【子育て支援】◇医療費助成事業の対象を中学校卒業まで拡大

【産業の振興】◇草地畜産基盤整備、優良後継牛確保対策、黒毛和種繁殖雌牛改良対策などの各種事業の導入による、良質な粗飼料生産と足腰の強い畜産経営を確立◇街路灯のLED化をはじめとする「まちなか再整備」の具体化

【教育】◇特別支援教育支援員を増員

【生活環境】◇生ごみの分別化の推進と再資源化◇從来の「新エネルギー導入助成事業」に、企業連携分とエコ活動助成を追加し「エコ・エネ総合対策事業」として事業実施▽葛巻病院改築、江刈簡易水道整備の推進

【東日本大震災被災者支援】◇被災者住宅再建支援事業補助金、被災地域支援団体活動費補助金を創設

【新課の設置】◇特定施設の円滑な推進のため「政策秘書課」を設置

厳しい財政状況の中で、24年度に実施される事業は、住民の不安を解消し、本当の意味での「豊かさ」や「幸せ」につながるものと期待している。

一方、特別会計は、各会計とも目的、趣旨に沿った予算が編成されているが、経営には最善の注意を払い、健全な経営に向けた努力が望まれる。

反対討論なし

特別会計

3月13日

を目指して集中的に進める考え方です。

する際の裁断機改修や金属などを取り除く機械の整備を行うものです。

事業内容と放射能の除染作業などの関連は。

江刈・田部バス増便

企画

総務

会計

企画

総務

バス路線運行拡大支援対策

企画

総務

の内容は。

企画

田部・江刈方面のバス運行を平日の昼と午後、2往復ずつ増便するものです。

企画

LED化の費用効果

企画

総務

中心市街地街路灯のLED化に伴う費用対効果は。

企画

街路灯90基の電気料は月額約8万3000円で、切替後は約2万8000円と3分の1程度に軽減されると思われます。

企画

携帯電話の不感地域

企画

今回の事業により、町内全域がクリアできるか。

企画

電波の問題もあり、必ずしも不感地域がゼロにはならないかもしれません、全域の解消

企画

記念事業の内容は。

企画

国道沿いや町の入り口などに、酪農の町をアピールする看板を設置したいと考えています。

企画

バイオガスシステム改修工事と生ごみ収集との関連等は。

企画

タイン種の部や町畜産共進会、記念シンポジウムなどを開催する予定です。

企画

江刈簡易水道の事業計画は。

企画

22年度決算は296万円の赤字で、要因は被保険者の減少、低所得化、高齢化などの構造的な問題が考えられます。

企画

さらに本町では、22年10月に被保険者数が3000人を切つ

企画



太陽光発電施設を整備した江刈農村センター

五日市小を予定。
27年度には小・中学校、社会体育館、グリーンテージなど15程度の太陽光発電、蓄電池等の施設を設置する予定です。

24年度は葛巻中・小屋瀬中、5日市小を予定。

会計

企画

会計

企画

乳牛導入120周年

農林

会計

農林

医療費助成範囲拡大

会計

助成対象が中学生まで拡大されるが、予算額が前年度より300万円少ない理由は。

会計

小学生1人当たり月額約100円となっています。

会計

この実績に基づき、今年8月から始まる中学生は約倍額で6ヶ月分、小学生は1年分で計算され、減額となつたものですが、後協議する予定です。

会計

水洗化率の目標値は

農業

24年度に概略設計、25年度に詳細設計を行い、26年度の工事着手の見通しで、事業期間は7年間の予定です。

企画

</div

一般質問

問 県下一高い 新介護保険料の理由は

答 施設サービスの拡大による



柴田 勇雄 議員

議員 4月からの介護保険料が大幅に引き上げとなり、負担増加率、保険料額とも県内最高となっているが、その引き上げの要因と経緯は。

また、県内平均保険料は5000円前後だが、経済不況下で5000円を超える保険料は、年金収入だけで暮らす高齢者にとって負担は大きく、理解が得られると思っているか。

その要因等は、第一に第4期事業計画で介護給付費準備基金を取り崩して、当時の月額保険料3904円を5420円（1516円、39%増）に、大幅な引き上げを行いました。

第二に特養100床、老健39床の増床や65歳以上の介護保険費用負担割合が20%から21%に増額変更されたこと、さらに今後の介護サービス見込み量等の拡大から大幅な引き上げとなることがあります。

問 2期目の予算編成
行政改革の決意は

24年度は町長2期目の最初の



星野に新設された地域密着型・特別養護老人ホームすみれ荘

このように第4期計画で施設整備の充実や介護保険料の軽減を図ったこと等が今回の保険料増額の要因となりました。

町民が要介護状態になつた場合でも、身近な地域で日常生活ができる仕組みづくりの介護保険制度の趣旨に沿つて介護保険事業に努めていきます。

答 財源を有効活用し既存事業を見直す

経費の節減では、枠配分方式の予算編成の導入、職員の人員費の抑制や公共事業の重点化による投資的経費を抑え、引き続き身の丈に合った行財政運営経費節減に努めます。

また、限られた財源を有効に活用し、社会情勢の変化や町民ニーズに的確に対応した行政サービスを提供するため、既存事業の見直しに取り組んでいきます。

問 生乳生産量減少と ヘルパー育成の対策は

答 事業導入で経営基盤を強化し、
ヘルパーを育成



山岸はる美 議員

議員 本町の酪農は、明治25年に乳牛が導入され、今年で120周年を迎え、東北一の酪農郷として発展してきました。近年は、農家の高齢化と担い手不足から農家戸数も10年間で81戸減少し、生産量も平成15年をピークに年々減少しています。これまで、国・県の補助事業を導入するとともに、町でも単独事業を実施するなど、経営基盤強化のための施策を講じてきました。今後、粗飼料生産基盤の集積や生産施設の近代化等の支援を進め、生乳生産量の拡大に努めます。

また、酪農ヘルパーの人材確保については、JAと情報を共有し取り組んでいきます。

議員 東日本大震災による停電は、畜産農家、乳業工場や配合飼料工場にも影響するなど、各方面に被害をもたらしました。そのことにより、故障牛の発生や生乳生産量が減少し続けていますが、その対応は。

また、酪農ヘルパー事業は農家の経営に重要な役割を担つておるが、ヘルパーの育成と確保についてJAと協議の考えは。

町長 本町の酪農は、明治25年に乳牛が導入され、今年で120周年を迎え、東北一の酪農郷として発展してきました。近年は、農家の高齢化と担い手不足から農家戸数も10年間で81戸減少し、生産量も平成15年をピークに年々減少しています。

議員 3年目を迎える。病児保育など、認定こども園として間もなく実施の考えは。

町長 また、2年間の運営をどのよう検証したか。

議員 3年目を迎える。病児保育など、認定こども園として間もなく実施の考えは。



新入園児を迎える会でダンスを披露する園児（葛巻保育園）

問 病児保育の実施と
2年間の運営状況

病児保育の実施には、国が定

うに検証したか。

問 坂道の凍結防止は

坂道は県教委所管

議員 葛巻高校の今後の入学者の見通しと就職内定率は。

町長 また、国道から校舎までの坂道は、冬場は特に危険であるが、凍結防止策など、県に働きかけられる考えはないか。

議員 また、就職内定率は、100%と聞いています。

町長 国道から校舎までの坂道については、県教育委員会所管の施設管理上の問題と考えています。

問 葛高入学見込みと
坂道の凍結防止は

坂道は県教委所管

少子化の影響により、学区内入学者は、定員（1クラス40人）に満たないことが予想されますが、学区外入学者を見込むと40人を超えると思われます。

また、就職内定率は、100%と聞いています。

3月定例会・臨時会で決まったこと

会計名	補正前予算額	補正額	補正後予算額
国民健康保険事業	11億3,372万円	△2,811万円	11億561万円
簡易水道事業	1億8,103万円	△49万円	1億8,054万円
農業集落排水事業	2億1,048万円	△860万円	2億188万円
後期高齢者医療事業	7,018万円	172万円	7,190万円
国民健康保険病院事業	9億1,922万円	△7,869万円	8億4,053万円

23年度補正予算



- **条例改正**
- **一般職の職員の給与に関する条例の改正**
- **スポーツ振興審議会条例の改正**
- **正規勤務手当の限度額を1万6,200円から、3万8,500円に引き上げました。**

「スポーツ基本法」の改正に伴い、「葛巻町スポーツ振興審

一般質問



総合計画をつくる 町長の基本姿勢は

問 町民と一緒にとなって
安全・安心な町づくりを

問

答 町民と一緒にとなって
安全・安心な町づくりを

- 議員** 町総合計画に係る町長の基本姿勢について、次の2点について伺う。
- 1 計画策定のスケジュールに住民意向をどのように把握するのか。
 - 2 生活の基本となる収入の確保と働く場の創出はどのように取り組むのか。

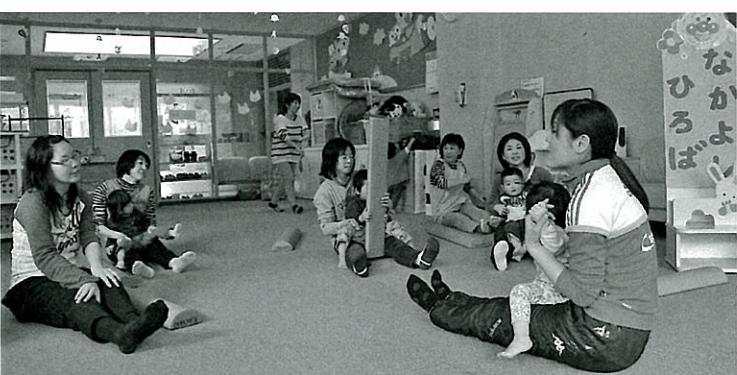
町長 ①昨年の町長選挙の際、まちづくりのための3つの重要施策と安心して暮らせるための6つの基本政策を公約に掲げ、町民と一緒にとなつたまちづくりを進めることを約束したところであり、総合計画の策定に当たつても実現のための政策と施策、事業をしっかりと体系づけています。

スケジュールと住民意向の把握方法は、住民アンケートを4月ごろに、関係団体等との懇談会を6月ごろに計画し、基本構想、基本計画の素案を取りまとめ、9月と翌年1月ごろにパブリックコメントと住民説明会を実施する計画です。

今回新たな試みとして、一般公募の町民によるワークショップで政策分野別の事業等について検討し、基本計画に反映させいく考えです。

②生活の基本となる収入の確保については、酪農や林業の振興を基本に、企業の誘致はもとより誘致企業の事業拡大や新たな第3セクターの設立、医療・福祉施設の整備促進など、雇用創出に向けて、直接的、間接的に取り組んできました。

最近では若者、高齢者の雇用助成や6次産業化、ものづくりなど様々な取り組みが実現されています。さらに、住民アンケートやワークショップなどで寄せられる住民ニーズや日々変化する社会経済情勢の動向を注視しつつ、収入や雇用の確保につながる新たな取り組みについて積極的に進めます。



少子化・子育て対策も重要な課題です（保健センター）

て検討し、基本計画に反映させていく考えです。

- **請負契約**
- **葛巻小学校屋内プール整備工事**
- **反対討論・柴田勇雄議員**
- **葛巻町課設置条例の改正**
- **企業立地促進条例の改正**
- **一般会計**
- **人事案件**

- **変更請負契約**
- **葛巻小学校屋内プール整備工事の工期を平成24年3月31日から同年8月3日に変更しました。**



村木 良悦 氏
(63歳・下町)

23年度補正予算



- **固定資産評価審査委員会委員**
- **人事案件**
- **臨時会**

- **変更請負契約**
- **葛巻小学校屋内プール整備工事の工期を平成24年3月31日から同年8月3日に変更しました。**

人材育成など、農家や商工業者も含めて活用できる支援制度の創設など、雇用対策も講じています。

次期総合計画の策定に当たっても、収入確保と雇用の創出は町民の安全・安心な暮らしと定住化を推進する上で重要な課題であると認識しています。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

また、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

人材育成など、農家や商工業者も含めて活用できる支援制度の創設など、雇用対策も講じています。

次期総合計画の策定に当たっても、収入確保と雇用の創出は町民の安全・安心な暮らしと定住化を推進する上で重要な課題であると認識しています。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

酪農の大型化による雇用拡大、盛岡広域圏の産業活性化基本計画や岩手県産業再生復興推進計画における産業集積区域（特区）の設定などに取り組みます。

くずまき議会だより

No. 158

3月定例会

平成24年5月1日発行
編集発行
葛巻町議会
広報発行常任委員会

〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町葛巻
TEL: 0195-66-2111
FAX: 0195-66-2780

INTERVIEW

インタビュー

Q. 葛巻町民の印象は。
まず驚いたことは、小学生が見知らずの私に「おはようございます」と朝のあいさつをしてくれたことです。関係者のご指導、家庭でのし

ビを見ながら一杯と言いたいところですが、実は大の甘党で晩酌はほとんどしません。

スポーツ観賞が好きで、テレビを見ながら一杯と言いたいところですが、実は大の甘党で晩酌はほとんどしません。

各自治会の活動も活発に行われ、皆さん積極的に参加されており、町づくりに関して高い意識を持っていますよね。

今後も皆さんで、よりよい住みやすい町にしていただければと思います。

盛岡信用金庫葛巻支店長

むらた いさむ
村田 五勇 さん(55歳)



地域密着の金融機関を目指して

つけでしょうか、とてもすがすがしい気持ちになつたことを覚えていきます。外の気温とは別に、町民の気持ちはとても温かい町だと思います。

Q. 自己PRをどうぞ。

二戸市生まれで、前任地は盛岡市の本店勤務でした。

こちらには昨年4月に赴任し、1年余になります。

妻と娘2人を二戸市に残して、普段は単身赴任。田子自治会にお世話になっています。

Q. 町民へのメッセージを。

地域密着の金融機関として、町の活性化の一助になればと考えています。

ご預金、ご融資のことなど気軽に声をかけていただければ、ご相談に応じさせていただきたく思います。

Q. 信用金庫の役割は。

地域密着の金融機関として、町の活性化の一助になればと考えています。

ご預金、ご融資のことなど気軽に声をかけていただければ、ご相談に応じさせていただきたく思います。

3市町村議会で研修会



平庭地域市町村議会議員連絡協議会（会長・中崎和久議長）の研修会は2月15日、久慈市・葛巻町・九戸村の議会議員43人が参加して、グリーンテージで開催されました。研修会では、全国町村議会議長会議事調査部長の三宅達也氏から「地方自治法改正と地方議会の取り組み」と題して、地方議会を取り巻く国の動向や議会が抱える課題、通年議会、議会基本条例などについて講演をいただきました。

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

1月 46,000円 (町商工会新年交賀会ほか)

2月 21,000円 (町安全協議会懇談会ほか)

3月 32,000円 (自衛隊入隊予定者激励会ほか)

広報発行常任委員会
副委員長 柴田 勇雄

3月はお別れの月。そして4月は出会いの月です。学校の入学式、新職場の入社式や歓迎会等の光景があり、町には新鮮な空気がみなぎります。町では3月議会で決まった予算と言えば1円の積み重ねです。1円を大切にこの1円を侮らない議会活動をしっかりと新年度もやっていきます。

編集後記



UD FONT